

今年活躍された役員

会 長	L. 藤 井 勉	テールツイスター	L. 阪 口 利 昭
前 会 長	L. 木 下 秋 水	二 年 理 事	L. 藤 木 正 夫
第 一 副 会 長	L. 中 谷 秋 男	(副 年 幹 理 事)	L. 中 島 三 郎
第 二 副 会 長	L. 小 路 口 勝 美	(副 年 理 事)	L. 東 瀬 浩 三
第 三 副 会 長	L. 金 沢 正 次	(副 ツイスター)	L. 渡 辺 忠 雄
幹 事	L. 中 村 幸 雄	(副 年 理 事)	L. 知 覧 良 昭
会 計	L. 松 永 清	一 年 理 事	L. 梅 田 進
ライオンテーマ	L. 能 崎 洋 広	一 年 理 事	

次年度の役員

会 長	L. 中 谷 秋 男	テールツイスター	L. 武 川 圭 弘
前 会 長	L. 藤 井 勉	一 年 理 事	L. 太 田 貞 雄
第 一 副 会 長	L. 福 田 一 夫	(副 年 幹 理 事)	L. 釜 中 与 四 一
第 二 副 会 長	L. 辻 野 建 市	(副 ツイスター)	L. 中 島 三 郎
第 三 副 会 長	L. 河 本 貢	一 年 理 事	L. 藤 木 正 夫
幹 事	L. 中 辻 弥 千 幸	二 年 理 事	L. 篠 田 桂 司
会 計	L. 佐 藤 創	(副 年 理 事)	L. 中 尾 健 一
ライオンテーマ	L. 宮 田 種 夫		

335B地区PR委員 L. 陶器清治

次年度委員会

(◎印は委員長、○印は副委員長)

第一副会長 L. 福田一夫	出席委員会	◎L. 三原 ○L. 西川 L. 住友 L. 知覧 L. 太田
	会員委員会	◎L. 河原 ○L. 松永 L. 藤岡 L. 米沢 L. 陶器
	財務委員会	◎L. 大浦 ○L. 江辺 L. 横田 L. 中尾(啓) L. 松本 L. 藤木
	計画委員会	◎L. 篠田 ○L. 津田 L. 山田(隆) L. 浅香 L. 多田
第二副会長 L. 辻野建市	情報PR会 報委員会	◎L. 山田(修) ○L. 角谷 L. 中村(宗) L. 森村 L. 東瀬 L. 中尾(健)
	接待委員会	◎L. 木下 ○L. 辰巳 L. 藤井(太)
	大会委員会	◎L. 大前 ○L. 藤原 L. 小路口 L. 大門 L. 得津 L. 中井
	会則委員会	◎L. 城 ○L. 能崎 L. 阪口 L. 今井 L. 菊池 L. 岩崎
第三副会長 L. 河本貢	社会福祉レクリエーション公衆安全環境保全委員会	◎L. 浅野 ○L. 西野 L. 金沢 L. 渡辺 L. 石川 L. 中島
	市民教育国際協調青少年交換委員会	◎L. 川井 ○L. 野村 L. 山口 L. 増井 L. 松下 L. 高橋
	視力保護盲人福祉保健聴力保護聾者福祉委員会	◎L. 香川 ○L. 梅田 L. 武田 L. 中村(幸) L. 鳴尾 L. 釜中

あ と が き

会報「今年の思い出」第7号を発行するのはこびになりました。
 これもひとえに編集取材関係でご協力、ご支持を賜りました。皆様のお蔭と厚く御礼申し上げます。
 内容についてお気付の点ございましたらご叱正賜われれば幸甚に存じます。

第二副会情報PR委員会

第二副会長 L. 小路口
 委員長 L. 大 門
 副委員長 L. 米 沢
 委 員 L. 大 前、L. 野 村、L. 中 辻
 L. 武 田、L. 多 田



堺陵東ライオンズクラブ機関誌

事務局 〒590 堺市戎之町西1丁3-3

電話(0722)38-3125

例会日 毎月第2・第4水曜日午後6時15分～7時30分

例会場 堺商工会議所5階大ホール 電話(0722)38-5581(代)

結成日 1972年8月26日

結成順位 302・No.1705 W-A地区No.112

スポンサー
 クラブ 堺登美丘ライオンズクラブ

チャーター
 ナイト 1972年12月9日

会員数 69名



7号

1976年6月23日



月別例会出席率 (1975.7~1976.6)



1年をふり返って

会長 藤井 勉



はからずも会長職を汚して一年。私如きものが、其の職務を大過なく全うする事が出来たのは一重に役員の皆様方の温い友情の賜ものと、心からお礼を申し上げます。会長就任時には「We serve」と云う大業に向って全生命を打ち込む覚悟でその任務に当たったものの、浅学非才の私には、その責務の重大さに今ふりかえって見れば、悔恨に満ちたものばかりで、役員の皆様、会員の皆様には、心から申し訳ないと切実に痛感して居る次第です。人間は、だんだん年をとって30才、40才、50才になりますと、どう云う方でも生活に疲れてくるもので、色々な苦勞が重なって身心ともに衰えてきます。自分の仕事をふり返って見ても、毎日毎日同じようなことをくり返していますから、つい惰性におちいります。このまま、人生の下り坂を下って行く場合が多いのですが、しかし、そう云うときに、もう一度自分が生まれ変わったつもりで、新たに人生の第一歩を踏みと云う態度。これが大事なことではないでしょうか。幸にも私は「ライオンズクラブ」に入会させて頂き、会長と云う大役をやらせて戴いた事は、私にとっては人間として短くてもいいから少しでも、まじな生き方をしようと云う気持ちを持ち、高邁なライオンズ精神に一歩でも近づくこうと努力する事によって、私の人生の第一歩を踏み出す機会を与えられたものと考え、非常に感謝して居る次第です。堺陵東ライオンズクラブも早や4周年を迎えようとして居ります。此の大切な時期に、国際協会の目的にありますように、友情・親善・相互理解のきづなによって益々クラブの融和をはかって地域社会のために奉仕されんことを念願して止まない次第です。

幹事 中村幸雄



予想もしなかった幹事の役を浅学非才の私にご指名あり、一瞬とまどいましたが、山より大きな獅々は出ないだろうと、この大役を引受け、早や1年が過ぎました。この間、諸事万端に涉り出来の悪い私を会長はじめ、クラブメンバー各位の御協力を賜りましなお蔭で大過なく運び得ましたことを心から感謝申し上げる次第でございます。この一年間に色々ライオンズ活動を行って参りましたが、302 WA地区年次大会に於てガバナーより出席賞の表彰を受賞出来得ました事は、出席委員会の御苦勞と会員各位の御協力の結晶であります。又、本年の交換学生 Mr. グランド君を長期にわたり、我が子同様にお世話をして頂きましたホスト家庭L. 川井の御家族の皆様方に改めて御礼を申し上げます。次期役員の方々の御健闘をお祈り致しまして、私の御挨拶と御礼の言葉に致します。

L.池を偲ぶ

前会長 木下秋水



桜散りつゝ、じの花の咲き競う5月1日(土)のお晝前、幹事のL.中村より“L.池隆が今朝北野病院で亡くなりました。”との電話を聞き、余りにも突然のことに只啞然として、我が耳を疑いました。つい先日迄元気でスマイルの君が年次大会の記念品係副委員長として活躍しておられたのに!!然し4月24日の年次大会の当日フェスティバルホールに於てL.池の姿が見られず不思議だなど思っていたが誰も詳しいことは言ってくれず知らないままでした。あとで聞けば年次大会の記念品を浅野運送の倉庫より会場に運んだあと打上げの際“頭が痛む。”と言って帰られ、熊野クリニックに入院し、二～三日後北野病院にて脳出血の診断のもとに手術を受けられたが……。

憶えばL.池は一昨年私が会長をつとめた時期に同じくライオンテーマとしてご活躍され、その真面目なことは毎例会の30分前には必ず姿を現し、例会の準備に精を出して居られ、その責任感の強いのに敬服していました。

当時を思い起せば49年3月の第34回一泊例会で山中温泉の“よしのや依緑園”の玄関前で雪を被った樹木を背景に十人程で撮影した写真をみて未だに笑って現存していただける様に思われる。その翌日那谷寺を経て九谷焼の竈元見学の時、池さんに選んで貰ったおうす茶碗を今尚愛用しています。この一泊例会の追想が我が陵東L.C.の会報第五号にL.池自身が掲載され

“那谷寺の庭木もたわむ
春のゆき”

という俳句を残しておられます。

5月2日、東光寺での告別式は好天気恵れた休日で、あなたに別れを惜しむ人々は、ライオンズ関係は勿論、町内会、会社関係等の多人数の人々で焼香の長い列が作られ、生存中如何に人望があったかを物語っていました。

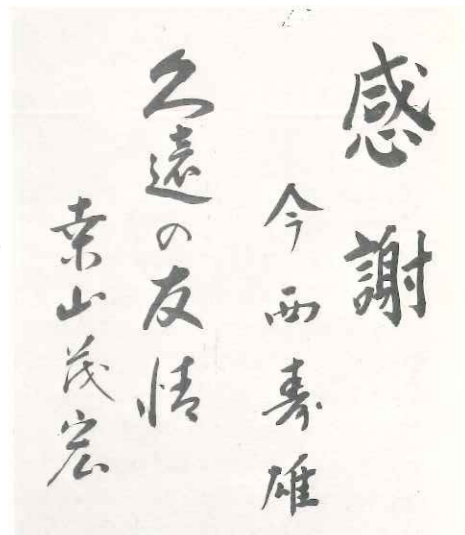
先般、次期役員指命の件でお電話したところ“今年は秋に工場を新しく建て直すので忙しいのです。”と言われ之がL.池との最後の語りとなりました。聞くところによればL.池は学生の頃より柔道をやられ、頑健な身体の様でしたが近年少し太って来たとかで、ゴルフを勧められ始めるとこでした。普段酒も殆んど飲まれぬのに脳出血を起すとは、43才の厄明け年が災いしたのでしょうか?もっと積極的に血圧等健康について話さなかったのが悔まれます。お通夜の晩、ご両親、奥さんを初め未だ年少のお子さん方の泣き悲しんでおられた情景が私の脳裡から未だに消えません。どうか出来るならお子さん方の成人される迄クラブの家族会にはご招待して勇気付けてあげたいと思うのは私一人ではないと思う。

最後に一句を捧げ故L.池隆の御冥福をお祈りします。

“君が死を
惜しむが如し
つゝ燃ゆ” 合掌。

302W-A地区 第22回

年次大会



AWARD AWARD AWARD

会長 藤井 勉

「どのような組織でも循環的に新しい血液を注入しなければ、その地域社会における指導的地位をさらに向上させ、維持していくことは出来ない。常に新しい会員がフレッシュな感覚で環境の変化に対応した運営をしていくことが、どれほど貴重であり、有意義であるかを認識されたい。」とライオンズ必携に書いてある如く、会員の増強は第一に会員委員会の任務であるが、同時にそれは会員各自の最も大切な義務である。今回L.米沢康夫が国際協会から「キー賞」を授与されたことは、メンバー全員こぞって祝福し、その功績を讃えようではないか。L.米沢康夫おめでとう。

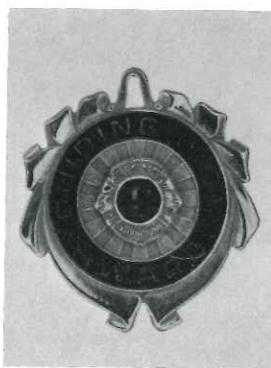
L.陶器清治におかれては、堺南ライオンズクラブ結成と同時に「ガイディングライオン」として就任され、新クラブの成長を常時教育指導され、若き情熱をもって先輩クラブをしのぐ立派なクラブに育てられた事からお礼申し上げ、本当に一ケ年間御苦労でした。

L.川井敏弘は今回の青少年交換事業に当り「ホスト家庭」として、家族一丸となって、オーストラリアからの来日学生「ハースレット・グラント君」に対して親身も及ばぬお世話をされ、相互理解を通じて、国際親善の一翼をになわれた事は、会員一同に代りまして厚くお礼申し上げます。会長と致しまして、その献身的な奉仕に対してL.川井敏弘を初め、御家族全員の方々に対して頭の下がる思いです。

此の一年、皆様の温かい御協力にて大過なく終らせて戴けるものと思っておりました矢先、L.池隆の突然の訃報に接し、私はあまりの唐突なことに只然然としてなす術を知りませんでした。実にかげえのない同志を亡くしてしまいました。御家族の心中を思うと私はいたたまれない気持ちで、揮察するだに胸のふさがる思いがいたします。クラブの役員として、又今回の年次大会の記念品委員会の副委員長として、ライオンズの為に盡くされたその功績は永久に会員一同の胸の中に残るものと確信致します。どうか安らかに眠り下さい。



キー賞
L.米沢康夫



ガイディング・ライオンアワード
L.陶器清治



YE. アプリケーション
L.川井敏弘

交換学生ホスト家庭

川井敏弘

1月7日、YE委員長L.増井が同行して下さいましてグラント君、私の息子（高校1年）と私4人で京都見物に行きました。先ず比叡山へ案内しましたが、丁度折柄寒い日でした、比叡山には雪が積って居りました。グラント君にとって雪を目のあたりにするのは生まれて初めての事で大変な喜びようです。息子と雪合戦をしたりあちこちはしゃぎ回って記念写真を写したり大いに楽しんで居りました。私もグラント君のあのような歓喜に満ちた表情を見て案内したかがありました。言葉が不十分な故グラント君は英和辞典を息子は和英辞典をジェスチャーや片言まじりで何とか通じ合う様になりましたが、その様子たるやどちらも精一杯の努力はしているものの涙ぐましい光景です。さて京都へと参りましたが、近頃の交通事情の停滞で行き着くまでに時間がかり過ぎましたので京都に着いたのは午後二時頃です。まだ私の方に来ましてから2〜3日しか過ぎて居りませんので、私の方は何とかして早くグラント君の気持ちを吸み取れる様に努力するのですが、言葉が不十分な故こちらの気持ちを十二分に表現することが出来ません。お腹が「すいていないだろうか」とか「何か不満はないだろうか」と色々気付かいながら京都名物平野家の「いもぼう」を御馳走しました。和食の場合はお箸を使わないと失礼と思ったのがグラント君もムリをしてお箸をつかって食事をします。その光景たるや子供が初めてお箸を持って食事する時とまったく同じです。「お箸むずかしい」「ナイフ、フォークやさしい」とか申しながら一生懸命努力しています。

知恩院、八坂神社、金閣寺と案内しました。冬の事で日が暮れるのが早いもので気がはやります。日本古来の木造建築に大変驚嘆していました。日本に来て何を一番期待、希望しているかと問いました処、東洋一大きな木造建築（奈良の大仏殿）日本の風土を觀賞して帰り度いと申して居りました。大仏殿の方は、第二ホスト家庭の高石ライオンズクラブの方が御案内される場所として残して置く様にとの仰せがありましたので京都だけのスケジュールにしました。日本の神社仏閣の偉大さにとても感心して居りました。目で見た異国の絶景を一生の思い出としてでしょうか、あらゆる所のスナップはかかさず記念に写して居りました。これは京都見物の一日の一角ですが、オーストラリアからの交換学生をおあずかりする事になり、何とかして日本の家庭のあり方、日本の国民としてのあり方等その期待にむくいる様に心掛けていろいろもてなしも家族一同（祖母、娘2人、高二、中一）工夫を致して居りましたが、グラント君も大変素直で明朗で真面目な好青年でしたので、私共の努力にも何とかむくいよう心掛けて居る姿は日に日に表われて居りました。18日間お預りしまして私共の息子娘達とも語学の面でも対人感情も打ちとけて家族的な雰囲気まで盛り上げることが出来ました。

この様な国際的な友情にも恵まれたことは、息子娘達の成長にこの上もない大きなメリットでありましたと深く感じ入る次第です。未来を背負っているグラント君が社会人となった時、何らかの御役に立てばと願っています。2月14日、帰国の日、大阪南港へ御見送りに参りましたが、今さらながら家族一同大騒動した日日がなつかしく走馬灯の如くよみがえって来ましたが、これで永遠の別れかと思えますと感無量の一言につきます。子供達も南港のかなたに、グラント君の姿が消え入るまで一杯ハンカチーフを振りながら別れをつけて居りました国際親善の使命に少しでも貢献出来ました事を感謝して居ります。



第一副会長のこの1年

第一副会長 中谷 秋 男

昨年指名を受けてから早くも一年。此の記事が発表される頃には任期も終る頃と思われます。昨年の各委員長決定後、或る人が私に「第一副会長の委員長は武士揃いやな」と云われたのを思い出します。その後、名前をじっくり眺めてなる程と思った。各産業界とも長い不況下に於いて、本業に精進しクラブの為に本年度の目的、計画、目標をなごやかな雰囲気の中で見事達成され有終の美を飾られた事は、此の荒武者を思わす各委員長始め、各委員の方々の並々なぬ努力のおかげでライオンズムの精神を十分に発揮された結果であろうと信じて頭の下る思いで一杯であります。出席、会員、計画、財務の各委員の皆さんほんとうに御苦労さんでした。

出席委員長 辰巳武平 委員 L. 江辺、L. 鳴尾、L. 中島、L. 武川、L. 辻野

振り返って見て此の一年、私は実に恵まれた年でありました。出席委員長を拝命した時、出席率向上と云う課題を与えられたことは大変な事になると思いました。しかしメンバー諸兄の深いご理解と絶大なご協力により4月24日、302WA地区第22回年次大会に於て出席率100%賞受賞の輝かしい栄誉を受けた事はクラブにとってまことに目出度く感激いたしました。常々ライオンズクラブは出席を大切にすると良く聞かされましたが私自身、恥しながら勉強不足で、その真意が分かりませんでした。出席委員会を担当してなる程ライオンズクラブは何故出席を大切にすることを勉強することが出来ました。また当初より例会の回を重ねる度に、メンバー各位より寄せられるご指導、鞭撻、激励、ご協力に接し人の心のふれ合いを知りました。今日幸い無事に職責を果し得ました事は、私の終生忘れることの出来ない感謝の気持ちで一杯であります。終りに望み一年間、色々苦勞をともにして頂き、ご協力下さいました出席委員の皆さんに衷心より御礼申し上げます。

会員委員長 浅野亮一 委員 L. 横田、L. 宮田、L. 福田、L. 津田

委員長の大役をお任せつかりながら、その四分の一を病床に伏したがためクラブはもとより委員諸氏に多大の御迷惑をおかけした事を深くお詫び申し上げます。種々の要素が組み合わされる上に人が人を選別し適不適を見分ける事態の予想以上のむづかしさがよく判明し、当初考えていた事がまとも実現出来得ず自責の念にかられているうちに任期が過ぎようとしています。スポンサーの方々が自信と誇りを持ち、その重要な意味を理解すると共に今一度、原点に立ちかえる必要があると申せば御叱責を受けるかも知れませんが……発展と年輪を重ねるクラブにとり特殊な委員会として取り得る行動は種々ありますが一例として、休会、退会者の進退処置遇につき、今後はもっと考え行動すべきと痛感致しました。最後に一年間御苦勞をおかけした委員諸氏に對しまして感謝と御礼申し上げます。

計画委員長 藤木正夫 委員 L. 梅田、L. 今井、L. 菊地、L. 藤原、L. 松下

思い出せば丁度昨年の今頃、指名委員長L. 藤井太一より二年理事と計画委員長を勤めるようにと連絡があり、私如き無能な者ならば果してこの大役が勤まるだろうか色々やんだ。それから第1回理事会に提出すべき計画予定(案)を組み立てる為、何回ともなく委員会を開き、その度毎に委員の皆様方の御意見を拝聴してようやく予定表を組み立てることが出来たが扱て、その予定を行動に移すことの難題が色々持ち上った。第一にアクティビティのこと。アクティビティは我委員会にあまり関係がないが、それでもライオンである限りアクティビティが目的である。だが、あまり会計上豊やかな予算があるわけがない。その為、無理なせり市をメ

ンバーの皆さん方に要請したことが我々委員会には重荷でもあった反面、年末のクリスマス例会の盛会これは計画委員会の本来の仕事である。如何に例会を楽しく有意義に過すかと云うのが我々に与えられた責任である以上この年忘れ例会にかけた第二副会長所属の各委員の皆様方と我が計画委員会とは、それこそ目の色を変えてこの例会日の行事の予定に取組んだ。どうすれば各ライオン、ライオンネス、レオの皆様方に御満足頂けるだろうかと大巾な云い方をすれば日夜努力した。不行届きの点を多々あったと思うが、まあまあ成果であったと自賛している。尚、其の他一年間の各行事、例会のスピーカー或は例会の終了までの空白の時間があれば、どうしたらよいかなどと苦心をしたことも多々あったが一年を過ぎてみて、この位の出来であればメンバーの皆様は何んとか納得して頂けるんではと自己満足をして居ります。最後に絶大な協力をして頂いた委員会の諸兄に心から御礼を申し上げると同時に感謝し挨拶と致します。

財務委員長 佐藤 創 委員 L. 河本、L. 知覧、L. 山口、L. 香川

今年は景気が悪いと云われながら日々が過って行く。我々にはその内容が充分解らないが、たゞ肌で感じることは高度成長時代(S40～S47年)当時のような時代は今后おとずれると云うことは先ず考えられないと思うのであります。何故なら今年も春闘はご承知の通り平均8.5%の賃上げでおちつきましたが、現況を振りかえってみると過去のように(S47年25%位、S48年31%位)の賃上げどころか20%も上げるものなら各企業ともつぶれてしまう。大体、両年度で50%以上賃上げをしたので経済の過熱をさせる源となったのである。そこで賃金の問題は安定したような感もするが、その反面購買意欲がかけてくる。したがって物が売れにくい物が売れなければ設備投資もしない。したがってしわよせは安定成長時代に入るこれからは各企業ともこのような状態の中で育て導びて行かなければならない。そうすると互の考えの到着することは一つの物を生産させるにしてもいかにその物の付加価値を上げるかに集中される。メンバーの皆さん財務を担当させてもらっている者として可能な範囲で多額の金を集めさせて頂きアクティビティに協力するには、先ず自分の企業を安定させ発展させたいにがんばって下さい。心より期待致します。

第二副会はこの1年

第二副会長 小路口 勝 美

月日のたつのは早いもので私の任期も、後わずかとなりました。此の一年間メンバー諸兄は勿論、第二副会の各委員長、委員の方々には絶大なる御指導と御支援と御協力に對しまして厚く御礼申し上げます。今期は今迄経験したことのない長期に渉る不況が続いて参りました。此の間、東南アジア大会には堺陵東ライオンズクラブとして10名の参加者があり、国際的な大きな大会に参加されましたのも有意義な年であったと思います。此等一つを見ましてもクラブメンバーの底力の強さを感じます。又、年忘れ家族例会には多数の参加をいただき計画委員会よりの絶大なる応援と第二副会所属の大会委員会をはじめ他の委員会の方々の御活躍に依り盛大になごやかに楽しい家族例会を開催することが出来たのも楽しい思い出の一つです。ライオンズの目的は地域社会の奉仕が最大の目的ではありますが、個人では成し得ない奉仕を我々メンバーの一人一人が力をあわせ初めてこの事業がなし得られるものです。これらメンバー全員が心一つにして如何なる行事を実施し、これを遂行した後の心のさわやかさは特別なものがございます。新年度と共に新しい役員が誕生し新しいアクティビティが発表されますが「ウイサーブ」の本来の精神をまもりつゝライオンズの一人として生きて行きたいと思っています。

接待委員長 河原義次 委員 L.藤井(太)、L.陶器

よく先輩ライオンの言葉に……ライオン歴4～5年になると一つの曲り角が来ると言われるが、私は当クラブの現在が其の通りでないかと思う。過去を振り返って見るに行事活動に又、ライオンとしての日常行動に反省させられる点が多く憂慮に耐えない次第です。これは私一人の考えだろうか。今後、私共はよりよきライオンとして成長するためには、先ず初心に帰ることだと痛感します。

次に本年度の接待委員会活動ですが、何分にも初めて独立した委員会の事として単にレールを引いたのみに終り、特に目新しい活動もせず一年が過ぎ去り申し訳なく思っています。どうか新年度よりの活躍を期待してバトンタッチと致します。一年間の御支援、御協力深く感謝申し上げます。

大会委員長 山田 修 委員 L.池、L.城、L.住友、L.中尾(啓)

結成4周年を迎えようとする堺陵東ライオンズクラブの新しい5年生になりました。今4年前の新入時代をかえりみます時、次から次へと委員会が開催され、その会議の席上、今迄経験したことのない英語と耳新しい言葉のみが頭に残って居ります。又、結成当時の各役員各委員長の一つの社会を形成すると云う大きな事業に対する情熱を忘れることが出来ません。それにひきかえ一回の役員と二回目の委員長を経験した私をかえり見ますとき、自分の進歩の無さを今更驚き反省して居ります。然しその反面、多くの親しい友人を得たことを最高の喜びとして居る一人でございます。この4年間如何なる委員会に所属しても、その中で新しい友人と友情が生まれたことも事実でございます。クラブでの一つの事業を遂行するのも委員会を通じての活動がなければ出来得ないことも知りました。又、此等活動の基本となるのも人と人との和であり「ウイサーブ」本来の姿であることも知りました。今後、如何なる委員会に所属しても今一度「ウイサーブ」本来の精神を素直な気持ちに帰り、クラブの発展と多くの友人を一人でも多く得たいと心から願って居ります。

会則委員長 山田隆雄 委員 L.太田、L.大浦、L.渡辺、L.西川、L.角谷、L.松本

当クラブは地区の適切な御指導、ブラザークラブの強力な御支援を得て早や4周年を迎えようとして居りますが、おおむね着実にライオンズとしての初道を歩み続けて参られたと自賛致すものであります。良識ある堅実な運営をモットーにすぐれた実績を残して来られた歴代会長はじめ幹事執行部及びメンバーの各位に敬意を捧げるものであります。会則委員長の重責を如何にはたすか考え乍ら任期も終りつつありますが会則とは云うまでもなく各ライオンメンバーのものであり、大きくは全世界のライオンのものであります。必携の再勉強等、新メンバーの交流等、次年度に当り自らを省りつつ更に強い友情に結ばれた団結を以ていよいよ高く大きくライオンズの道を歩み続けたいと存じます。

情報PR委員長 大門 徹 委員 L.米沢、L.武田、L.野村、L.中辻、L.大前、L.多田

何年か前頃、胸にL字のバッジをつけた人を見かけると何か我々の手のとどかない憧れのような気持ちで、その方を見つめていた……自分自身の職業を通じてそんな方々とマンツーマンでお付合いを願えるようになりたい。本当にそう心から願っていた。そんなある日、L.米沢から「君ライオンズクラブに入らないか」そんな言葉をかけられた。嬉しさを隠しきれない気持ちで一杯であったが、反面、不相応な自分を省みてライオンとして皆さんについて行けるだろうかなどと心配しておったがスポンサーのL.米沢からライオンズについて色々教えてもらい勇気を出して入会させて頂いた。今でも感激で忘れられないのは入会の日、定刻30分前、女房と二人で片隅で不安な気持ちで立っているとL.野村が話しかけて頂いて親切に当日のことを教えてくれた。大層な表現ですが「薬をもつかむ」とは、この事かと思いました。それから一年ライオンズのこと何も解らない私に情報PR委員長ご指名あり、人から云われると「君、何故受けんや」……云われる通りですが、委員のメンバーを聞くとチャーターメンバーばかり、其の時「君ライオンズを知るために受けとき、皆んなで助ける」そう云ってくれた。実にこの一年、私はそのことを文字で表わすが如き、先輩の諸兄の心づくしで自分自身あやかりながら後輩を育てる弱いものを労る。そんな点を学ばさせて頂いた私は不勉強なのか今度メンバー全員の名前と顔が一致しない。一日でも早く全メンバーの顔と名前をおぼえたい。そして願わくば当初（私がライオンズに入会させて頂く前）味っていたようにライオンズマンと云えば世の中の人々から特殊な人々の集まりであると思われるのではなく一人でも多くの地域社会の方々にライオンズの本来の良い姿を知って頂きたい。そんな気持ちで一杯であります。

第三副会のこの1年

第三副会長 金沢正次

私がライオンズクラブに或るLのスポンサーにより入会させて頂きましたのが、昭和47年10月でございますが当初、私自身気軽な気持ちで入会させて頂きましたものの時が経過するにつけ、今後、皆様と共に歩んでいけるものかどうか会の高度なレベルを思い出すとき、自らの疑心暗鬼を生じてまいりました。その不安な気持ちのさめやまぬ内に、昭和50年の第三副会長と云う大役を申し渡され僭越とは充々知りながら、これに取り組むべく気持ちを一新この重責を受けるに至りました。私共第三副会の事業であります青少年交換、福祉、市民教育の三大事業を受け持たして頂きました。ともすれば世間より忘れ去られがちな不幸な児童及び老人の皆さんに少しでも喜んで頂くことの主旨をもちまして、約200万円のアクティビティを実施をし青少年交換事業と致しましてはL.増井の協力を得まして18日間に渉りオーストラリアの交換学生を招き、L.川井宅にホスト家庭をお願いし多大のご協力を得まして友好親善を深めましたことは本当に有意義でありました。今後、会員の一人として当クラブの益々の発展と相互の親睦と融和を尚一層深めるべく頑張っていく所存でございますればよろしくお願い致します。

社会福祉、レクリエーション、公衆安全、環境保全委員長 中尾健一

委員 L.森村、L.高橋、L.釜中、L.東瀬、L.岩崎、L.石川、L.得津

会員の皆様には御精励のことと存じます。私は社会福祉委員長の大役をひきうけての一年間をかえりみますと、思うことの半分も出来なかったことが残念でなりません。昨秋、堺養護学校から体育祭への招待を受けましたので特別参加させて頂きました。その時の気持ちは今だに忘れることができません。身体障害というハンディを背おいながらも懸命に走り、跳んでいる姿を見て本当にもっと何かをしなければならないという気持ちにさせられていました。その他、八田荘老人ホーム等もありましたが、アクティビティはいくらしてもしたりないというのが本音です。このあと、私達の出来なかったことの何倍も後任の方々にお願い致す次第です。御協力下さった会員の皆様に感謝とともにごあいさつにかえさせて頂きます。

市民教育、国際協調及青少年交換委員長 増井 博 委員 L.西野、L.篠田、L.三原、L.中村(宗)

YE委員長を一年間振り返って見ますと自分でも恥ずかしくて、もう少し今まで勉強をしておけば良かったと後悔の連続です。まず今年は、運良くオーストラリアよりホスト役を引受け、出来の悪い私には困った一年間でした。取り分け準備もなく会長並び第三副会長に相談をし心良く増井君、協力してやろうじゃないかと返事を頂き、まず安心しました。さて1月5日、来日したものの口会話に全然自信がなく、一ヶ月間手会話で一生懸命頑張りました。ホスト家庭には、川井氏家族ぐるみのご協力を頂き、私委員長としてホスト家庭並びYE委員長までやって頂いた様、思っております。そんな事で来期にはお礼として一年間学んだ事を協力して再度勉強もしたいと思っております。そんな訳で一年間色々良い勉強をさせて頂き良かったと、ひと言お礼を申し上げます。

視力保護、盲人福祉、保健聴力保護、聾者福祉委員長 浅香昭一 委員 L.中井、L.藤岡、L.川井

私達の委員会はとても大変な委員会であり、年度当初、委員長を拜命された時其の責任の重大さを痛感し身が引きしまる思いでした。

視力盲人・聴力聾者の方々にも自分自身で自信をもって生きていける力を!!そんなことは全ての人の願いでもある。……

昨年の秋堺養護学校をおとずれた時、生徒の活動を見学し共に行動した中でとくに感じたことは、彼等1人1人は懸命に生きようとしている、彼等はこれから遠い遠い人生行路を一人旅をしていく。そんな時私達社会人は、おしめない拍手をおくり、彼等をあわれみの気持で見るとは心からの激励をしたいと考える一人でありました。

今年の思い出 例会並に主な行事報告

堺東ライオンズクラブ
(1975. 7 ~ 1976. 6)

年月日	例会(回数)	要 要	開催場所
50年7月3日		第35回理事会 6時	大 重
7月9日	第68回例会	登美丘L.C会長、幹事訪問	堺商工会議所
7月23日	第69回例会	ゲストスピーカ 堺北警察署長(談義あれこれ)	堺商工会議所
8月5日		交換学生新日鉄見学 YE委員会	
8月7日		第36回理事会 6時	堺商工会議所
8月13日	第70回例会	名物せり市	堺商工会議所
8月19日		第1回ガバナー諮問委員会 L.藤井勉、L.中村	天 兆 閣
8月27日	第71回例会	ゲストスピーカ 大阪府総合計画室長 西村壯一(明日の大阪を考える)	堺商工会議所
9月4日		第37回理事会 6時	堺商工会議所
9月10日	第72回例会	堺北警察署長 消防本部長(アクティビティの御礼)	堺商工会議所
9月13日		青少年交換委員長研修会 L.増井	ロイヤルホテル
9月14日		みかん狩り下見(有田) L.藤木、L.藤原、L.中村、L.中谷、L.菊地	
9月25日	第73回例会	ゲストスピーカ 田守神社 宮司後藤氏(堺の神話)	堺商工会議所
10月6日		第38回理事会 6時	大 重
10月8日	第74回例会	名物せり市 入会式 L.石川、L.松本、L.松下	堺商工会議所
10月12日		アクティビティ堺市立百舌鳥養護学校(体育祭奉仕活動)L.中尾(健)、L.大前、L.宮田、L.鳴尾	
10月19日		堺まつり参加(8名)	
10月26日	第75回例会	みかん狩り 有田行(全員登録)	
11月6日		第39回理事会 6時	堺商工会議所
11月8日		L.Sの会	天 兆 閣
11月12日	第76回例会	通常例会	堺商工会議所
11月15日		第2回諮問委員会 L.藤井勉、L.中村	臨海センター
11月21日		21~24日 東洋、東南アジア大会(参加者9名)	台 北 市
11月26日	第77回例会	堺南L.C合同例会 ゲストスピーカ 堺消防本部長	堺商工会議所
11月27日		ガバナー公式訪問 L.藤井勉、L.木下、L.中谷、L.小路、L.金沢、L.中村、L.松本	羽 衣 荘
12月2日		L.Sゴルフコンペ 鳴尾C.C L.坂口、L.能崎、L.辰己、L.山田隆、L.中尾健一	
12月4日		第40回理事会 6時	堺商工会議所
12月10日	第78回例会	年末助合い運動	
12月20日		第二副合同委員会(クリスマス例会打合せ会)	
12月24日	第79回例会	クリスマス家族例会	新 東 洋
51年1月5日		交換学生 四日市港着	
1月10日		YEニューイヤパーティ L.川井、L.藤井勉	コクサイホテル
1月12日		第41回理事会 6時	丸三雪陵庵
1月14日	第80回例会	交換学生Mr.グラント君見学	堺商工会議所
1月22日		L.S新年会	かき豊中店
1月24日		交換学生高石L.Cにバトンタッチ	
1月28日	第81回例会	ゲストスピーカ(大阪アイバンク理事長)	堺商工会議所
2月5日		第42回理事会 6時	堺商工会議所
2月12日	第82回例会	名物せり市	堺商工会議所
2月14日		泉大津L.C 15周年例会 L.藤井勉、L.中村、参加	新 東 洋
2月14日		交換学生帰国 大阪南港出発 L.川井	
2月21日		21~22日 順路旅行 淡路阿那賀	フジ旅館
2月25日	第83回例会	ゲストスピーカ 堺税務署長(税金の申告について)指名委員会発足	堺商工会議所
2月26日		交換学生ホスト家庭オリエンテーション	
3月4日		第43回理事会 6時	堺商工会議所
3月10日	第84回例会	堺市助役 速水逸良 アクティビティの御礼 入会式 L.得津	堺商工会議所
3月13日		第3回諮問委員会	新 東 洋
3月20日		大阪南港L.Cチャーターナイト参加 L.石川、L.東瀬、L.中村	
3月21日		堺南L.C 1周年記念例会	天 兆 閣
3月24日	第85回例会	ゲストスピーカ 阪口、池田(弁論大会とは)	堺商工会議所
4月4日		堺L.Cチャーターナイト参加 L.藤井勉、L.中村、L.藤木、L.中谷、L.得津	
4月8日		第44回理事会 6時	大 重
4月14日	第86回例会	新役員発表 指名委員長 L.木下より(満場一致で決定)	堺商工会議所
4月24日		年次大会(全員登録)	フェスティバルホール
5月6日		第45回(新旧合同)理事会 6時	楓 林 閣
5月12日	第88回例会	第22年次大会報告	
5月21日		ライオンズスクール ホスト堺L.C	堺商工会議所
5月26日	第89回例会		
5月31日		ゾーン親善ゴルフ大会 かつらぎC.C	
6月3日		第46回理事会 6時	堺商工会議所
6月6日		302W複合地区第22回年次大会	神 戸 市
6月9日	第90回例会		堺商工会議所
6月11日		新三役スクール	大 開 園
6月12日		第4回諮問委員会 ホスト 堺東L.C	羽 衣 荘
6月23日	第91回打上げ例会		
6月23~26日		ライオンズクラブ世界大会	ハ ワ イ

1975年7月~1976年4月 アクティビティ

1975年7月		献血9名(6月の奉仕)	
8月		上半期分青少年交換アクティビティ基金	キャビネット ¥12,420
		堺北警察署へアクティビティ	¥344,700
		(トーシャファックスU-250S)	
		(謄写輪転機SE-600)	
9月		第4回消防救助技術指導会の協賛金	¥200,000
		(身体障害者を招待)	
		1975年7 RYE活動クラブ協力金	¥30,000
		(S50年9月末まで)	51回 6,199,844円
		身体不自由児協会へ協力金	¥8,000
10月	52回	堺市身障者福祉大会へ協力金	¥50,000
	53回	堺市百舌鳥養護学校体育祭へ協力金(労力奉仕4名)	¥20,000
	54回	堺まつり振興会へ協賛金(労力奉仕5名)	¥150,000
	55回	インド救ライ協力基金 69名×100円	¥6,900
11月	56回	第3回全大阪ろうあ文化祭へ協力金	¥20,000
1976年1月	57回	青少年交換アクティビティ基金	¥12,600
	58回	LIF奨金	¥21,000
	59回	交換学生受入基金	¥6,500
2月	60回	物故ライオンズ慰霊碑建設アクティビティ 5,000×68	¥340,000
	61回	大阪アイバンク協力金	¥50,000
	62回	交換学生受入基金(ホスト家庭へ)	¥100,000
	63回	八田荘老人ホーム(コタツ布団)50組	¥150,000
	64回	福生園老人ホーム	¥150,000
	65回	堺市役所都市計画部交通課(16ミリフィルム3本)	¥288,000
	66回	堺市教育委員会社会教育課(16ミリ映写機一式)	¥260,000

